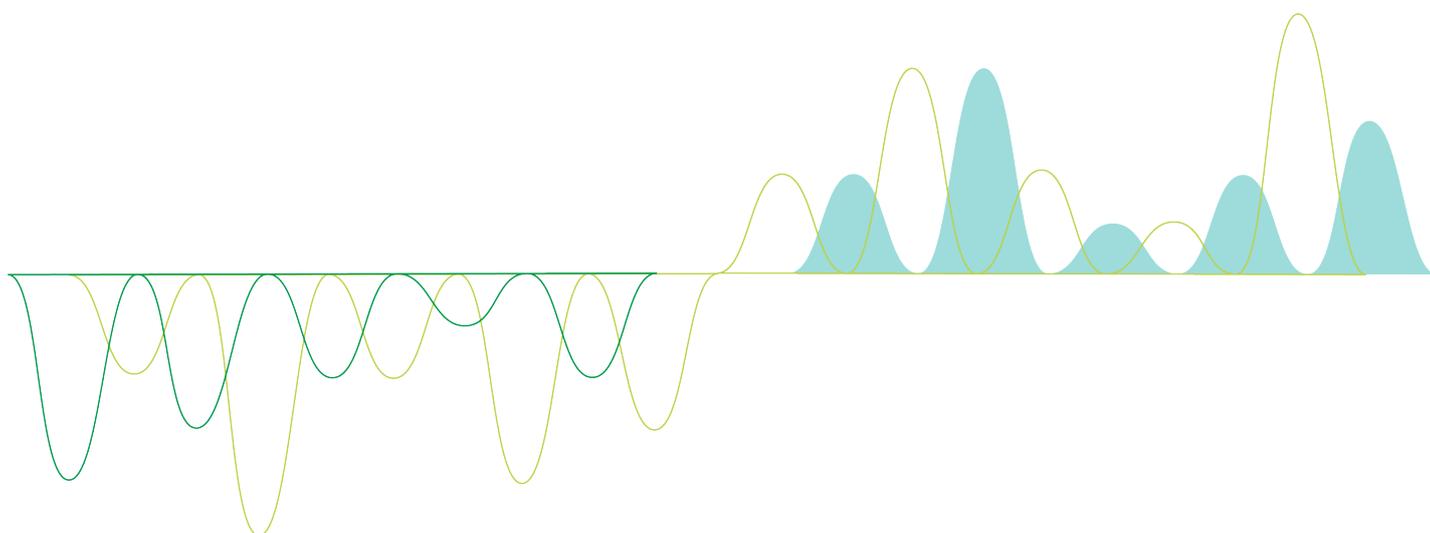


Qlik Sense Desktop

Qlik Sense®

May 2023

Copyright © 1993-2023 QlikTech International AB. All rights reserved.



1 本書について	5
2 Qlik Sense のバージョン比較	6
3 Qlik Sense Desktop のインストール	7
3.1 システム要件	7
3.2 Qlik Sense Desktop に含まれるもの	8
デスクトップ アイテムとスタート メニュー アイテム	8
Qlik Sense Desktop のインストール場所	8
サンプル、アプリ、ログ	8
3.3 設定ファイルの入手	8
3.4 Qlik Sense Desktop のインストール	8
Qlik Sense Desktop の標準インストール	8
Qlik Sense Desktop のカスタム インストール	9
3.5 Qlik Sense Desktop のアップグレード	10
アプリの移行	11
3.6 Qlik Sense Desktop ポート	11
3.7 Qlik Sense Desktop ストレージ	11
既定のストレージ	11
ポータブル形式	11
3.8 拡張バンドル インストールの修正	11
3.9 Qlik Sense Desktop の修復	12
3.10 Qlik Sense Desktop のアンインストール	12
3.11 Qlik Sense Desktop のサイレントインストール	13
構文	13
コマンド	14
引数	14
例	15
3 インストール ファイルのダウンロード	16
4 Qlik Sense Desktop の起動	17
4.1 Qlik Sense SaaS に対する認証	17
Qlik Sense Desktop をダウンロードして認証	17
4.2 Qlik Sense Enterprise サーバーに対して認証する	17
Qlik Sense Enterprise ハブからクライアント認証リンクを取得する	18
管理者からクライアント認証リンクを受け取る	18
管理者から hubs.ini ファイルを受け取る	19
4.3 ログアウト	19
4.4 Web ブラウザで Qlik Sense Desktop を開く	19
5 Qlik Sense Desktop のハブ	20
5.1 A: ツールバー	20
5.2 B: ログイン情報	21
5.3 C: アプリの新規作成	21
5.4 D: 作業	21
5.5 E: メイン領域	21
5.6 F: はじめに	21
6 Qlik Sense Desktop でアプリを開く	22
6.1 ハブからアプリを開く	22

6.2	ハブ以外からアプリを開く	22
7	Qlik Sense Desktop インストールからアプリを移動	23
7.1	最近の Qlik Sense Desktop 導入時に作成されたアプリの移動	23
7.2	以前の Qlik Sense Desktop 導入時に作成されたアプリの移動	23
7.3	別の Qlik Sense プラットフォームにアプリを移動	24
8	トラブルシューティング - Qlik Sense Desktop	25
8.1	Qlik Sense Desktop をインストールできません	25
8.2	Qlik Sense Desktop のログ ファイルが見つからない	25
8.3	Qlik Sense Desktop のインストール ログ ファイルが見つかりません	25
8.4	セッションの有効期限切れ	25
8.5	アプリのサムネイルがハブで見つからない	25
8.6	アプリの移動時に画像が見つからない	26
8.7	qvw ファイルをハブにドロップしたのですが、qvw ファイルが見つかりません。また、ハブでアプリを使用できません	26
8.8	アプリを開けない	26
8.9	オブジェクトからデータをダウンロードできません	27

1 本書について

Qlik Sense Desktop が Qlik Sense と異なる部分について理解を図ります。

本書は Qlik Sense のオンラインヘルプをもとに作成されています。オフラインでの情報入手や印刷の便宜を図った簡易版のため、すべての情報が掲載されているわけではありません。

help.qlik.com/sense では、オンラインヘルプ、付加的なガイド、その他多くのリソースをご提供しております。

2 Qlik Sense のバージョン比較

Qlik Sense Desktop と Qlik Sense Enterprise には、相違点がいくつかあります。

- Qlik Sense Desktop はローカルの Windows コンピューター専用で、マルチ スクリーンやタブレット等には対応していません。
- Qlik Sense Desktop でアプリの公開ができないため、ストリームはサポートされていません。
- Qlik Sense Desktop ではセキュリティ機能はサポートされていません。
- Qlik Sense Desktop には自動保存機能はありません。ツール バーの [保存] をクリックして手動で作業を保存する必要があります。アプリはスクリプトをリロードする際に、自動的に保存されます。
- アプリの複製は、Qlik Sense Desktop ではサポートされていません。
- Qlik Sense Desktop はオペレーティング システムの言語で実行され、言語を変更することはできません。
- Qlik Sense Desktop では、ダイナミック ビューが非対応です。

3 Qlik Sense Desktop のインストール

このセクションでは、Qlik Sense Desktop をコンピューターにインストールする方法を説明しています。

3.1 システム要件

Qlik Sense Desktop を正常にインストールし作動させるには、このセクションに記載された要件を満たしている必要があります。

Qlik Sense デスクトップ要件

オペレーティング システム	Microsoft Windows 10 (64-bit バージョンのみ) Microsoft Windows 11
プロセッサ (CPU)	Intel Core 2 Duo 以上を推奨 Advanced Vector Extensions (AVX) サポート。
メモリ	最低 4 GB (データ容量によっては、より多くのメモリが必要となる場合があります。)  Qlik Sense はインメモリ分析技術を使用しています。メモリ要件は、分析されるデータ量に直接関係しています。
ディスク空き容量	インストールには計 5.0 GB が必要
.NET フレームワーク	4.8 以降
セキュリティ	インストールにはローカル管理者権限が必要です。
最低画面解像度	<ul style="list-style-type: none"> • デスクトップ、ノート PC、タブレット: 1024x768 • 小型画面: 320x568
対応ブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Edge • Google Chrome • Mozilla Firefox  既定では、Qlik Sense Desktop は専用のウィンドウで実行されますが、Web ブラウザーで開くこともできます。  Mozilla Firefox (ハードウェア アクセラレーションが必要、仮想環境には対応していません)。

3.2 Qlik Sense Desktop に含まれるもの

デスクトップ アイテムとスタート メニュー アイテム

Qlik Sense Desktop のインストール完了後、ショートカットをデスクトップと[スタート]メニュー([スタート] > すべてのプログラム) から利用できるようになります。

- Qlik Sense Desktop のショートカット
ハブが Qlik Sense 実行の開始点になります。ここには作成した Qlik Sense アプリがすべて表示されます。

Qlik Sense Desktop のインストール場所

Qlik Sense Desktop のインストールが完了すると、Qlik Sense Desktop が `Users\{user}\AppData\Local\Programs\Qlik` にインストールされます。

[**Custom Installation**] (カスタム インストール) オプションでインストール場所を指定することもできます。

サンプル、アプリ、ログ

Qlik Sense Desktop のインストールには、いくつかのサンプル ファイルが含まれています。これらは `Users\{user}\Documents\Qlik\Examples` に保存されています。例えば、拡張コードの例がいくつか `Extensions` サブフォルダーにインストールされています。

Qlik Sense Desktop のインストールには、サンプル アプリも含まれています。これらは `Users\{user}\Documents\Qlik\Sense\Apps` に保存されています。

Qlik Sense Desktop のインストールでは、ログは `Users\{user}\Documents\Qlik\Sense\Log` にあります。

3.3 設定ファイルの入手

`Qlik_Sense_Desktop_setup.exe` ファイルは、 [製品のダウンロード](#) から入手できます。お使いのコンピューターのフォルダーに保存してください。

3.4 Qlik Sense Desktop のインストール

インストールとストレージの場所が既定のオプションに設定される標準インストールを実行するか、またはカスタムインストールで場所を指定することができます。

Qlik Sense Desktop の標準インストール

次の手順を実行します。

1. `Qlik_Sense_Desktop_setup.exe` をダブルクリックして、インストールを開始します。
「ようこそ」のダイアログが表示されます。
2. 標準インストールを実行する場合は、[**Install**] をクリックします。
[**License agreement**] のダイアログが表示されます。

3. 使用許諾契約書を読み、[I accept the license agreement] を選択し、[Next] をクリックします。



また、ローカルプリンターで使用許諾契約書を印刷することも可能です。

4. [インストール準備完了] 画面で、必要に応じて、デスクトップショートカットの作成を選択します。[インストール] をクリックします。
5. [Extension bundles] (拡張バンドル) セクションで、必要に応じて、拡張バンドルのインストールを選択します。次に、Qlik Sense インストールについて利用可能な拡張バンドルの一覧からインストールしたい拡張バンドルを選択します。
拡張バンドルは、後からいつでも Qlik Sense インストールに対して追加、削除できます。参照先: 拡張バンドル インストールの修正 (page 11).
6. 拡張バンドルをインストールしない場合は、[インストール] をクリックします。そうでない場合は、[次へ] をクリックします。
7. いずれかの拡張バンドルをインストールする場合は、拡張バンドル使用許諾契約書に同意します。[インストール] をクリックします。
8. インストールが完了すると、[Installation summary] が表示されます。
[Finish] をクリックして [Installation summary] を閉じます。
これで、お使いのコンピューターに Qlik Sense Desktop が正しくインストールされました。

Qlik Sense Desktop のカスタム インストール

次の手順を実行します。

1. Qlik_Sense_Desktop_setup.exe をダブルクリックして、インストールを開始します。
「ようこそ」のダイアログが表示されます。
2. [Custom Installation] をクリックします。
[License agreement] のダイアログが表示されます。
3. 使用許諾契約書を読み、[I accept the license agreement] チェックボックスを選択し、[Next] をクリックします。



また、ローカルプリンターで使用許諾契約書を印刷することも可能です。

4. Qlik Sense Desktop をインストールする場所を入力するか、または参照して、[Next] (次へ) をクリックします。



Qlik Sense Desktop は、管理者権限の必要な場所 (例: C:\Program Files) にはインストールできません。

5. Qlik Sense Desktop でアプリのコンテンツを保存する場所を入力するか、または参照して、[Next] (次へ) をクリックします。
6. [インストール準備完了] 画面で、必要に応じて、デスクトップショートカットの作成を選択します。[インストール] をクリックします。

7. [インストール準備完了] 画面の [Extension bundles] (拡張バンドル) セクションで、必要に応じて、デスクトップショートカットの作成を選択します。次に、Qlik Sense インストールについて利用可能な拡張バンドルの一覧からインストールしたい拡張バンドルを選択します。
拡張バンドルは、後からいつでも Qlik Sense インストールに対して追加、削除できます。参照先: 拡張バンドルインストールの修正 (page 11).
8. 拡張バンドルをインストールしない場合は、[インストール] をクリックします。そうでない場合は、[次へ] をクリックします。
9. いずれかの拡張バンドルをインストールする場合は、拡張バンドル使用許諾契約書に同意します。[インストール] をクリックします。
10. インストールが完了すると、[Installation summary] が表示されます。
[Finish] をクリックして [Installation summary] を閉じます。
これで、カスタマイズしたインストールとストレージの場所を使用して、Qlik Sense Desktop がコンピューターに正常にインストールされました。



Qlik Sense Desktop をサイレントインストールするには、Qlik Sense Desktop のサイレントインストール (page 13) を参照してください。

3.5 Qlik Sense Desktop のアップグレード

アップグレードオプションは、Qlik Sense があらかじめインストールされていて新しいバージョンの Qlik_Sense_Desktop_setup.exe セットアップファイルが実行されたときに使用可能になります。

次の手順を実行します。

1. Qlik_Sense_Desktop_setup.exe をダブルクリックして、インストールを開始します。
「ようこそ」のダイアログが表示されます。
2. [UPGRADE] をクリックします。
[License agreement] のダイアログが表示されます。
3. ライセンス使用許諾書を読み、同意する場合は [I accept the license agreement] のチェックボックスをオンにし、[Next] をクリックします。



また、ローカルプリンターで使用許諾契約書を印刷することも可能です。

[Ready to install] のダイアログが表示されます。

4. [Upgrade] をクリックすると、インストールが始まります。
インストールが完了すると、[Installation summary] が表示されます。
5. [Finish] をクリックして [Installation summary] を閉じます。
これで、Qlik Sense Desktop の新しいバージョンに正常にアップグレードされました。



Qlik Sense Desktop をサイレントアップグレードするには、Qlik Sense Desktop のサイレントインストール (page 13) を参照してください。

アプリの移行

Qlik Sense Desktop のアップグレード後は、互換性を確保するためにアプリを移行する必要があります。ハブでは、アプリを移行する前にサムネイルが表示されません。

移行は、アップグレード後に最初にアプリを開いたときに自動で行われます。アプリの移行の前には、バックアップコピーが `Users\{user}\Documents\Qlik\Sense\AppsBackup` に作成されます。アプリを以前のバージョンの Qlik Sense Desktop で開きたい場合は、バックアップコピーを利用できます。

3.6 Qlik Sense Desktop ポート

Qlik Sense Desktop は、既定のポート 4848 を使用します。

3.7 Qlik Sense Desktop ストレージ

このセクションでは、Qlik Sense Desktop の実行中に Qlik Sense アプリが保存される場所について説明します。

既定のストレージ

Qlik Sense では、既定でアプリはローカルファイルシステム (`C:\Users\{user}\Documents\Qlik\Sense`) に保存されます。

ポータブル形式

Qlik Sense のアプリは、ローカルファイルシステムに当社独自の `.qvf` 形式 (ポータブル形式) で保存できます。

単一のアプリは `<AppName>.qvf` として保存されます (`<AppName>` はアプリのタイトルです)。

3.8 拡張バンドル インストールの修正

拡張バンドルは、いつでも Qlik Sense Desktop インストールに対して追加、削除できます。

次の手順を実行します。

1. [コントロールパネル] の [プログラムと機能] を開きます。
2. プログラムの一覧の中から、修正する拡張バンドルをダブルクリックします。
3. [Extension Bundle Setup Wizard] (拡張バンドル設定ウィザード) が開きます。[次へ] をクリックします。
4. [変更] を選択します。
5. [カスタム セットアップ] 画面でバンドルのアイコンをクリックし、バンドル インストールをどう修正するかを選択します。
 - バンドルがインストールされている場合、[インストールしない] を選択してそのバンドルをアンインストールします。
 - バンドルがインストールされていない場合、[ローカル ハード ドライブにすべてインストール] を選択し、バンドルをインストールします。

[次へ] をクリックします。

6. **[Change]** (変更) をクリックします。
7. **[完了]** をクリックし、**[Extension Bundle Setup Wizard]** (拡張バンドル設定ウィザード) を終了します。

3.9 Qlik Sense Desktop の修復

Repair オプションを実行すると、欠如しているすべてのファイル、ショートカット、レジストリ値が復元されます。

次の手順を実行します。

1. プログラムの修復を開始するには、**[コントロール パネル]** を開き、**[プログラムのアンインストール]** を選択します。次に、プログラム リストから Qlik Sense Desktop を選択して、**[変更]** をクリックします。

[Qlik Sense Desktop Setup maintenance] のダイアログが表示されます。



この操作は、`Qlik_Sense_Desktop_setup.exe` ファイルをダブルクリックして実行することもできます。

2. **[REPAIR]** をクリックします。
[Ready to repair] のダイアログが表示されます。
3. **[Repair]** をクリックします。
修復が始まり、進捗状況が表示されます。
4. 修復プロセスが完了すると、**[Repair summary]** ダイアログが表示され、Qlik Sense Desktop の修復が正常に完了したことが示されます。
5. **[Finish]** をクリックします。

これで、Qlik Sense Desktop インストールの修復が完了しました。



Qlik Sense Desktop をサイレント修復するには、Qlik Sense Desktop のサイレントインストール (page 13) を参照してください。

3.10 Qlik Sense Desktop のアンインストール

次の手順を実行します。

1. Qlik Sense Desktop をアンインストールするには、**[コントロール パネル]** を開き、**[プログラムのアンインストール]** を選択します。次に、プログラム リストから Qlik Sense Desktop を選択して、**[アンインストール]** をクリックします。

Qlik Sense Desktop をコンピューターからアンインストールしてもよいかどうかを尋ねる確認ダイアログが表示されます。



Qlik Sense Desktop のアンインストールは、`Qlik_Sense_Desktop_setup.exe` ファイルをダブルクリックして、[Maintenance] (メンテナンス) ダイアログで **[Uninstall]** をクリックして実行することも可能です。この場合、Qlik Sense Desktop インストールを変更する際は、設定ファイルの正しいバージョン (Qlik Sense Desktop インストール時に使用したものと同一バージョン) を使用する必要があります。

2. **[Uninstall]** をクリックします。
アンインストールプロセスが開始し、進捗状況が表示されます。
3. アンインストールプロセスが完了すると、**[Uninstall summary]** ダイアログが表示され、Qlik Sense Desktop のアンインストールが正常に完了したことが示されます。
4. **[Finish]** をクリックします。

これで、Qlik Sense Desktop のアンインストールが完了しました。



Qlik Sense Desktop をサイレントアンインストールするには、Qlik Sense Desktop のサイレントインストール (page 13) を参照してください。

3.11 Qlik Sense Desktop のサイレントインストール

サイレントインストールの実行時には、Qlik Sense Desktop はダイアログを全く表示しないで、インストールされます。つまり、サイレントインストールを行う際には、機能やプロパティ、ユーザーの選択内容をすべて知っている必要があります。インストーラのユーザー インターフェイスで利用できるすべての設定オプションは、サイレント操作で実行できます。

次の手順を実行します。

1. [スタート] > [すべてのプログラム] > [アクセサリ] > [コマンドプロンプト] の順に選択します。
[コマンドプロンプト] のウィンドウが表示されます。
2. [コマンドプロンプト] のウィンドウで、`Qlik_Sense_Desktop_setup.exe` ファイルを含むフォルダに移動します。
3. `Qlik_Sense_Desktop_setup.exe` と入力して、適切なサイレントインストールの構文を続けます。

構文

```
Qlik_Sense_Desktop_setup.exe [-silent] [-uninstall] [-repair] {-log  
path\filename} {layout=path} {accepteula=1|0} {desktopshortcut=1|0}  
{installdir=path} {storagepath=path}  
{bundleinstall=dashboard|visualization}
```

```
Qlik_Sense_Desktop_setup.exe -?または-h 画面上のサイレントセットアップ ヘルプを開きます。
```

コマンド

-silent (または -s)		UI を使用しないコマンドラインによる設定 (必須)。
-uninstall		製品をサイレントアンインストールします。-silent コマンドとともに使用する必要があります。
-repair		製品をサイレントに修復します。-silent コマンドとともに使用する必要があります。
-log (または -l)	[パス付きのログファイル名]	ログファイルディレクトリおよびログファイル名。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;">  ユーザーはこのディレクトリへのアクセス権を持つ必要があります。 </div>
-layout	[保存先ディレクトリ]	ファイル (.msiファイルを含む) を保存先のディレクトリに抽出します。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;">  その他のコマンドラインの引数と組み合わせることはできません。 </div>

引数

引数はスペースで区切られ、[Argument]="[Value]" の形式で表示されます。通常、二重引用符 (") は省略できますが、パスにスペースが含まれている場合は必要です。

既定値は、セットアップユーザーインターフェースで使用した値になっています。

accepteula	1 0	Qlik ユーザー ライセンス契約に同意します。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;">  この引数はインストールまたはアップグレード時には必須であり、正常にインストールするには QULA を受け入れる必要があります。 </div>
desktopshortcut	1 0 (クリーンインストールではデフォルト値の1になります)	デスクトップショートカットをインストールします。
installdir	[カスタムインストールディレクトリへのパス]	既定のインストールディレクトリを使用しない場合のディレクトリを定義します。既定のインストールディレクトリ: %LocalAppData%\Programs。

storagepath	[アプリ、ログ、拡張機能に使用されるカスタム ディレクトリへのパス]	アプリ、ログ、拡張機能に使用されるカスタム ディレクトリへのパスを定義します。 installldir パラメータを指定する必要があります。既定のストレージパス: C:\Users\{user}\Documents\Qlik\Sense.
bundleinstall	dashboard,visualization	ダッシュボードとビジュアライゼーションのバンドルを含めます。

例

Qlik Sense Desktop のインストールまたはアップグレード

次の例では、Qlik Sense Desktop をインストールするか、現在のセットアップをアップグレードします。

```
Qlik_Sense_Desktop_setup.exe -s accepteula=1
```

オブジェクト バンドルを使用して Qlik Sense Desktop をインストール

次の例では、ダッシュボードとビジュアライゼーション オブジェクト バンドルを含む Qlik Sense Desktop をインストールします。

```
Qlik_Sense_Desktop_setup.exe -s accepteula=1  
bundleinstall=dashboard,visualization
```

デスクトップ ショートカットなしで Qlik Sense Desktop をインストール

次の例は、デスクトップ ショートカットなしで Qlik Sense Desktop をインストールします。さらに、インストール ログはカスタム フォルダに作成されます。

```
Qlik_Sense_Desktop_setup.exe -s -l c:\mylogpath desktopshortcut=0  
accepteula=1
```

Qlik Sense Desktop の修復

次の例では、Qlik Sense Desktop の既存のインストールを修復します。

```
Qlik_Sense_Desktop_setup.exe -s -repair
```

Qlik Sense Desktop のアンインストール

次の例では、Qlik Sense Desktop をアンインストールします。

```
Qlik_Sense_Desktop_setup.exe -s -uninstall
```

3 インストール ファイルのダウンロード

Qlik Cloud は、独自のシステムにインストールされているユーティリティとコネクターを利用します。これらのツールは、管理者により、Qlik Cloud の [ツール] ページまたは Qlik のダウンロードサイトからダウンロードできます。このサイトは、Qlik コミュニティの [サポート] > [製品 ニュース] > [ダウンロード] にあります。

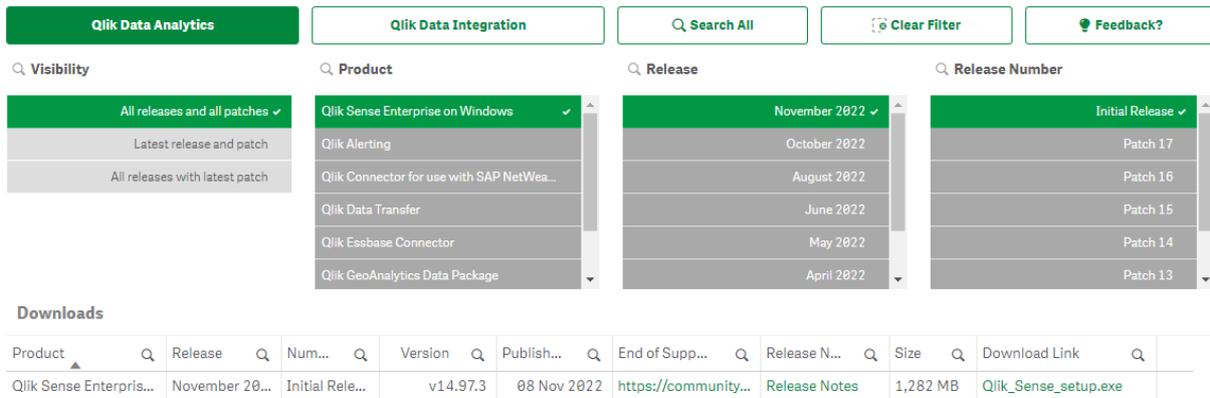
次の手順を実行します。

1. Qlik Cloud で、右上隅のプロファイル アイコンをクリックし、[プロファイルの設定] をクリックします。
2. [その他] にある [ツール] をクリックします。
3. ダウンロードするファイルを選択します。

または、次の手順を実行します。

1.  [製品 のダウンロード](#) に移動します。
2. **Qlik データ分析** または **Qlik データ統合** を選択し、製品を選択します。
3. フィルターを使用して、可能なダウンロードのリストを絞り込みます。
4. **アセットのダウンロード** テーブルの **ダウンロードリンク** 列にあるリンクをクリックして、ダウンロードを開始します。

製品 とリリースでファイルがフィルタリングされた [ダウンロードサイト] の例。



スクリーンショットは、Qlik Data Analytics のダウンロードページを示しています。上部には「Qlik Data Analytics」、「Qlik Data Integration」、「Search All」、「Clear Filter」、「Feedback?」のボタンがあります。フィルターメニューには「Visibility」、「Product」、「Release」、「Release Number」のセクションがあります。Product は「Qlik Sense Enterprise on Windows」に設定されています。Release は「November 2022」に設定されています。Release Number は「Initial Release」に設定されています。下部には「Downloads」テーブルが表示されています。

Product	Release	Num...	Version	Publish...	End of Supp...	Release N...	Size	Download Link
Qlik Sense Enterpris...	November 20...	Initial Rele...	v14.97.3	08 Nov 2022	https://community...	Release Notes	1,282 MB	Qlik_Sense_setup.exe

4 Qlik Sense Desktop の起動

Qlik Sense Desktop は Qlik Sense プログラム グループの [スタート メニュー] から起動します。

Qlik Sense Desktop の使用を開始できるようにするには、Qlik Sense Enterprise サーバーに対して、まず自分が認証される必要があります。認証を有効にするには、有効なネットワーク接続が必要です。

一度認証されれば、Qlik Sense Desktop の使用を継続するためにインターネットアクセスは必要ありません。ただし、最後に認証されてから30日が経過した場合、ログアウトした場合、または管理者によって Qlik Sense Enterprise サーバーに対するユーザーアクセス権が取り消された場合は、自身を再認証する必要があります。SAML 認証を使用している場合にブラウザを閉じると、セッションが終了してクッキーが削除されるので、新しいセッションを開始するには再認証を行う必要があります。



Qlik Sense Desktop は、オペレーティングシステムの言語で実行されます。Web ブラウザで Qlik Sense Desktop を開いて実行しない限り、言語を変更することはできません。

4.1 Qlik Sense SaaS に対する認証

Qlik Sense SaaS に対して Qlik Sense Desktop クライアントを認証できます。そのためには、認証リンクを生成する必要があります。

Qlik Sense SaaS で Qlik Sense Desktop を認証する方法

Qlik Sense Desktop をダウンロードして認証

次の手順を実行します。

1. ハブを開きます。ハブの詳細については、*Qlik Sense Desktop のハブ*(page 20) を参照してください。
2. 右上隅のプロファイルをクリックして、[プロファイル設定] を選択します。
3. [その他] で [ツール] を選択します。
4. **Qlik Sense Desktop** の下で、[ダウンロード] をクリックして Qlik Sense Desktop をダウンロードします。
5. Qlik Sense Desktop をインストールします。
6. [認証] をクリックして、サーバー認証リンクを Qlik Sense Desktop インストールに追加します。次に、Qlik Sense Desktop でそのリンクをクリックして認証できます。

4.2 Qlik Sense Enterprise サーバーに対して認証する

Qlik Sense Enterprise のユーザーアクセスを持っている場合、Qlik Sense Desktop を開始すると Qlik Sense Enterprise サーバーに対して認証を行うことができます。

認証できるようにするには、管理者がまず Qlik Management Console で Qlik Sense Enterprise 認証リンクを生成する必要があります。

Qlik Sense 管理者は、以下の方法のいずれかを使用してリンクを受け取る方法についての情報を提供します。

- Qlik Sense Enterprise ハブからクライアント認証リンクを取得する
- 管理者からクライアント認証リンクを受け取る
- 管理者から、認証リンクが含まれている hubs.ini ファイルを受け取る

以下のいずれかの手順を開始する前に、コンピュータに Qlik Sense Desktop をインストールしておく必要があります。



クライアント認証はテストサーバーでは対応していません。

Qlik Sense Enterprise ハブからクライアント認証リンクを取得する

次の手順を実行します。

1. Qlik Sense Enterprise を起動します。
2. ハブの上部ツールバーで... をクリックして、[クライアント認証] をクリックします。
3. Qlik Sense を使用して認証リンクを開くことを確認するように求めるメッセージが表示されたダイアログボックスが開きます。ダイアログで確認します。
Qlik Sense Desktop が開き、エンタープライズサーバーの新しい認証ボタンが「ようこそ」ページの [Qlik Sense Enterprise に対する認証] に追加されます。
4. 認証ボタンをクリックしてログインします。Qlik Sense Enterprise の資格情報を入力するように求められます。
これで認証され、Qlik Sense Desktop が開きます。

これ以降に Qlik Sense Desktop を起動するときには、認証ボタンをクリックし、Qlik Sense Enterprise の資格情報を使用してログインすることができます。

管理者からクライアント認証リンクを受け取る

次の手順を実行します。

1. Qlik Sense 管理者から提供された認証リンクをクリックします。
リンクをクリックできない場合は、そのリンクをブラウザにコピーして Return キーを押します。
Google Chrome を使用している場合は、「Google 検索」と表示されていないアドレスバーからリンクオプションを選択する必要があります。



2. Qlik Sense を使用して認証リンクを開くことを確認するように求めるメッセージが表示されたダイアログボックスが開きます。ダイアログで確認します。
Qlik Sense Desktop が開き、「ようこそ」ページの [Qlik Sense Enterprise に対する認証] に認証リンクが追加されます。
3. 認証リンクをクリックします。Qlik Sense Enterprise の資格情報を入力するように求められます。
これで認証され、Qlik Sense Desktop が開きます。

これ以降に Qlik Sense Desktop を起動するときには、認証 ボタンをクリックし、Qlik Sense Enterprise の資格情報を使用してログインすることができます。

管理者から hubs.ini ファイルを受け取る

次の手順を実行します。

1. 管理者から提供された *hubs.ini* ファイルを次の場所にコピーします:C:\Users\<ユーザー名>\Documents\Qlik\Sense\Hubs\
次に Qlik Sense Desktop を起動したときに、「ようこそ」ページの [Qlik Sense Enterprise に対する認証] に認証 リンクが追加されます。
2. 認証 リンクをクリックします。Qlik Sense Enterprise の資格情報を入力するように求められます。
これで認証され、Qlik Sense Desktop が開きます。

これ以降に Qlik Sense Desktop を起動するときには、認証 ボタンをクリックし、Qlik Sense Enterprise の資格情報を使用してログインすることができます。

4.3 ログアウト

Qlik Sense Desktop からログアウトを選択できます。

次の手順を実行します。

-  をクリックし、ポップアップ メニューで  をクリックします。

4.4 Web ブラウザで Qlik Sense Desktop を開く

既定では、Qlik Sense Desktop は専用のウィンドウで実行されますが、Web ブラウザーで開くこともできます。

Web ブラウザーで開く前に、Qlik Sense Desktop を使用してログインをする必要があります。

次の手順を実行します。

1. スタート メニューから Qlik Sense Desktop を起動します。
2. (サポートされている) Web ブラウザを開きます。
3. ブラウザーのアドレスバーに *http://localhost:4848/hub* と入力します。

これで Qlik Sense Desktop が Web ブラウザーに開き、すべてのアプリを含むハブが表示されます。

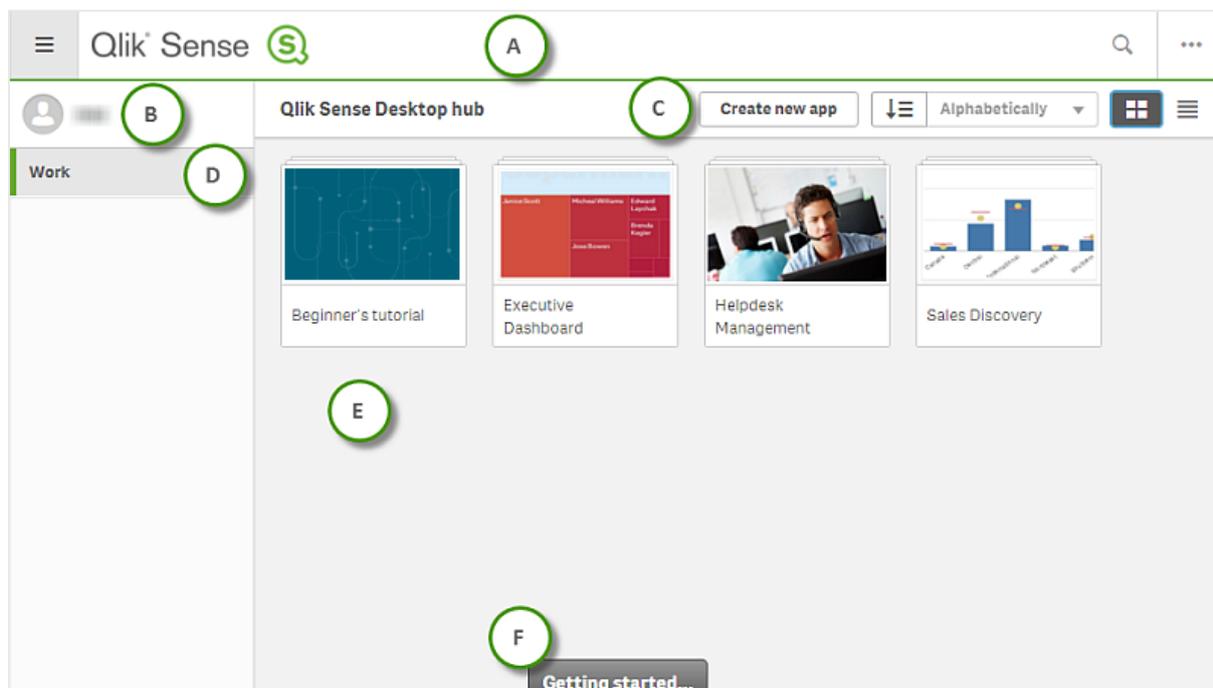


これで Qlik Sense Desktop の言語を変更できます。

5 Qlik Sense Desktop のハブ

Qlik Sense Desktop を開くと、ハブが表示されます。ハブには、すべてのアプリが表示されます。ハブでアプリをクリックし、別のタブで開きます。

Work view (作業表示) が開いている Qlik Sense Desktop ハブ。



5.1 A: ツールバー

ツールバーには、グローバルメニューと他の便利なコマンドが含まれています。

ツールバーのオプション

UI 項目	説明
☰	ナビゲーションメニューのトグルオン、トグルオフを行います。
🔍	特定のアプリをすぐに検索できます。
⋮	Dev Hub 、 [ヘルプ] 、および [詳細] オプションのあるグローバルメニュー。 [クライアント認証] リンクをクリックすると、Qlik Sense Desktop の使用を有効化できます。

5.2 B: ログイン情報

ログイン情報のオプション

UI 項目	説明
	ログイン情報はログイン時に表示されます。Qlik Sense システムの設定方法によっては、[ログイン] ボタンをクリックしてログインしなければならない場合があります。 ログイン後は、 y をクリックし、ポップアップ メニューで y をクリックすると、[プロフィール] ダイアログを開くことができ、ここに  [ユーザー ID] および [ユーザー ディレクトリ] の情報を表示できます。
ログアウト	 をクリックし、ポップアップ メニューで  をクリックしてログアウトします。

5.3 C: アプリの新規作成

アプリのオプション

UI 項目	説明
アプリの新規作成	新しいアプリを作成します。このボタンは、アプリ作成の権限がある場合のみ利用できません。
↑≡	アルファベット順、作成日別、または公開日別に、アプリを昇順または降順に並べ替えることができます。
	好みに応じて、ハブのグリッドビューとリストビューを切り替えます。

5.4 D: 作業

[作業] にあるすべての独自アプリが含まれる [個人用]。

5.5 E: メイン領域

メイン領域にすべてのアプリが表示されます。

5.6 F: はじめに

Qlik Sense Desktop.での作業を開始する方法の詳細については、Qlik Sense Desktop Web ページを参照してください。

6 Qlik Sense Desktop でアプリを開く

Qlik Sense Desktop を使用すると、ハブまたはファイルの保存場所からアプリを開くことができます。

6.1 ハブからアプリを開く

アプリをクリックすると、ハブからアプリが開きます。

6.2 ハブ以外からアプリを開く

Qlik Sense Desktop では、ハブにないアプリを開くことができます。それには 2 つの方法があります。

- アプリが保存されているディレクトリを開き、アプリをハブにドラッグします。
- Ctrl+C を使用してアプリをコピーしてから、Ctrl+O を使用してハブで開くこともできます。



アプリをハブ コンテンツの一部に加えたい場合は、アプリファイル (拡張機能 .qvf が付属) をアプリ ディレクトリ (通常は <user>\Documents\Qlik\Sense\Apps) に移動できます。

7 Qlik Sense Desktop インストールからアプリを移動

Qlik Sense Desktop で作成したアプリを保存するときに、アプリに含まれている画像がアプリの残りのコンテンツとバンドルされます。そのため、アプリを簡単に別のユーザーと共有したり別のコンピューターに移動したりすることができます。

Qlik Sense Desktop で作成した画像を含むアプリを、Qlik Sense Desktop が搭載されている別のコンピューターに移動できます。たとえば、アプリを電子メールで送信できます。

7.1 最近の Qlik Sense Desktop 導入時に作成されたアプリの移動

アプリが最近の Qlik Sense Desktop 導入時に作成されている場合、そのアプリの画像は、アプリの残りのコンテンツと一緒に自動的にバンドルされます。

次の手順を実行します。

1. Qlik Sense Desktop を使用してアプリを作成します。
2. アプリを保存します。
3. ハードドライブにアプリを置きます。既定の場所は <ユーザー>\Documents\Qlik\Sense\Apps です。
4. ポータブル デバイスなどにアプリをコピーします。
5. このアプリを Qlik Sense Desktop が搭載されている別のコンピューターの Apps フォルダに貼り付けます。

これで、アプリがハブから使用できるようになりました。

7.2 以前の Qlik Sense Desktop 導入時に作成されたアプリの移動

アプリが以前のバージョンの Qlik Sense Desktop (バージョン 2.0 より前) で作成されていた場合、そのアプリの画像は、アプリの残りのコンテンツと一緒にバンドルされません。アプリ移動の前に、アプリを起動して保存する必要があります。

次の手順を実行します。

1. 新しいバージョンの Qlik Sense Desktop を使用してアプリを開きます。
2. アプリに変更を行います。
3. アプリを保存します。
これで、アプリに含まれている画像は、アプリの残りのコンテンツと一緒にバンドルされます。
4. ハードドライブにアプリを置きます。既定の場所は <ユーザー>\Documents\Qlik\Sense\Apps です。
5. ポータブル デバイスなどにアプリをコピーします。
6. このアプリを Qlik Sense Desktop が搭載されている別のコンピューターの Apps フォルダに貼り付けます。

これで、アプリがハブから使用できるようになりました。

7.3 別の Qlik Sense プラットフォームにアプリを移動

Qlik Sense Desktop で作成したアプリを、Qlik Sense Enterprise など別の Qlik Sense 環境に移動できます。アプリを移動するには、アプリをコンピューターにコピーしてから、選択した Qlik Sense 環境にアップロードする必要があります。

アプリはハブから使用可能になります。



Qlik Sense Desktop アプリを Qlik Sense 環境に移動する場合は、画像を個別に処理する必要があります。Qlik Sense を使用して作成されたアプリを移動する場合も同様です。

8 トラブルシューティング - Qlik Sense Desktop

このセクションでは、Qlik Sense Desktop 特有の問題について説明します。

8.1 Qlik Sense Desktop をインストールできません

考えられる原因

システム要件を満たしていないか、インストールに必要なローカル管理者権限がありません。

8.2 Qlik Sense Desktop のログ ファイルが見つからない

Qlik Sense Desktop のログ ファイルの場所は、アプリケーションをインストールした場所により異なります。

既定の場所は <user>\Documents\Qlik\Sense\Log です。

8.3 Qlik Sense Desktop のインストール ログ ファイルが見つかりません

インストール中に [キャンセル] をクリックするか、インストールが正常に完了しなかった場合、環境変数 %temp% を使用してアクセスできる [temp] フォルダにあるインストール ログで詳細を確認できます。

8.4 セッションの有効期限切れ

Qlik Sense Desktop を使用していて、自分の Qlik Sense Enterprise サーバーの資格情報でログインしました。[セッションが期限切れです] というエラー メッセージを受け取り、再度ログインできなくなりました。

考えられる原因

Qlik Sense Enterprise サーバーのユーザー アクセス権またはプロフェッショナル アクセス権がありません。

提案されたアクション

管理者にユーザー アクセス権またはプロフェッショナル アクセス権を割り当てるように依頼してください。

8.5 アプリのサムネイルがハブで見つからない

考えられる原因

Qlik Sense Desktop が新しいバージョンにアップグレードされました。ハブでは、アプリを移行する前にサムネイルが表示されません。

提案されたアクション

アプリケーションを開きます。移行は、アップグレード後に最初にアプリを開いたときに自動で行われます。

8.6 アプリの移動時に画像が見つからない

考えられる原因

Qlik Sense Desktop を新しいバージョンにアップグレードし、移動するアプリがバージョン 2.0 より前の Qlik Sense Desktop 環境で作成されていた場合、

提案されたアクション

アプリを他のコンピュータに移動する前に、新しいバージョンの Qlik Sense Desktop でアプリを開き、変更を行ってアプリを保存します。

これで、アプリに含まれている画像は、アプリの残りのコンテンツと一緒にバンドルされます。

8.7 qvw ファイルをハブにドロップしたのですが、qvw ファイルが見つかりません。また、ハブでアプリを使用できません

考えられる原因

Qlik Sense アプリとして開くために、フォルダから QlikView ドキュメント (qvw ファイル) をドラッグし Qlik Sense Desktop ハブにドロップしました。

アプリを変更して、そのアプリを保存すると、次の問題が発生します。

- アプリは、QlikView ドキュメント (qvw ファイル) が保存されているフォルダに Qlik Sense 形式 (qvf ファイル) で保存されます。
- また、QlikView ドキュメントのファイル (qvw) がフォルダから削除され、`<user>\Documents\Qlik\Sense\AppsBackup` に保存されているバックアップ ファイル (qvw.backup) に自動的に変換されます。

提案されたアクション

バックアップ ファイルを開く必要がある場合は、`<user>\Documents\Qlik\Sense\AppsBackup` でバックアップ ファイルを探します。

Qlik Sense アプリ (qvf ファイル) の保存場所を `<user>\Documents\Qlik\Sense\Apps` とは別のフォルダにする場合は、ハブから使用できるように、`Apps` フォルダにアプリを移動します。

8.8 アプリを開けない

アプリを開こうとすると、次のエラーメッセージが表示されます: [オブジェクトを保存できませんでした]。

考えられる原因

アプリのバックアップの合計のパスの長さが、260 文字という上限を超えています。

合計のパスには、バックアップ ライブラリや製品バージョン、バックアップ日のタイムスタンプ、アプリ名が含まれます: `<ユーザー>\Documents\Qlik\Sense\AppsBackup\<アプリ名>`

提案されたアクション

qvf ファイルの名前を変更し、パスの長さを短くします。これでアプリを開けるようになります。

8.9 オブジェクトからデータをダウンロードできません

Qlik Sense Desktop を使用してオブジェクトからデータをダウンロードしようとする、次のエラーメッセージが表示されます: [オブジェクトを保存できませんでした]。

考えられる原因

オブジェクトのタイトルが長すぎます。タイトルの長さは、最大 174 文字です。

提案されたアクション

タイトルを短くしてください。これによりデータのダウンロードが有効になります。